

「比例」

教科書28ページ～30ページ

月 日 () 名前

1 教科書 28 ページの問題を声に出して読みましょう。また、レンガや植木ばちを積み重ねていくと、高さがどのように変わるのかを考えましょう。

2 教科書 29 ページ 1 を声に出して読みましょう。

(1) 積む数と全体の高さの関係を、表にかきましょう。

レンガの数と全体の高さの関係

レンガの数 (個)	1	2	3	4	5	6	
全体の高さ (cm)	3						

植木ばちの数と全体の高さの関係

植木ばちの数 (個)	1	2	3	4	5	6	
全体の高さ (cm)	12						

(2) レンガの数が 2 倍、3 倍になると、全体の高さはどのように変わりますか。□に当てはまる言葉を書きましょう。

レンガの数が 2 倍、3 倍、…になると、それにともなって、全体の高さも

になります。このようなとき、

レンガの全体の高さは、レンガの数に

といいます。

(3) 植木ばちの数が 2 倍、3 倍になると、全体の高さはどのように変わりますか。

(4) (1)～(3)をもとに、わかったことをまとめましょう。

表に整理して、積む数が

倍や

倍になったときの

高さを調べると、

しているかどうか分かる。

3 教科書 30 ページの 2 の問題に取り組みましょう。

高さ (cm)	1	2	3	4	5	6	
体積 (cm ³)	20						

月 日 () 名前

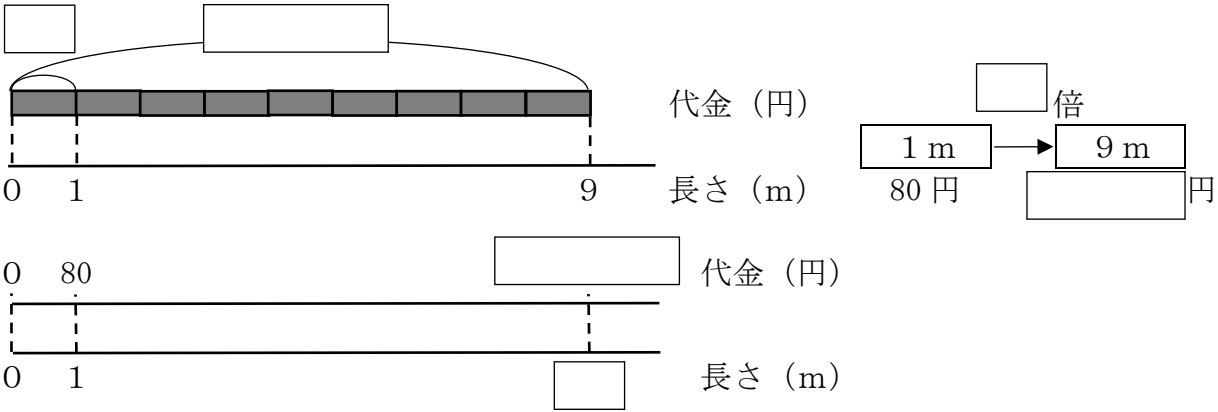
1 教科書 31 ページ 3 を声に出して読みましょう。

(1) 表にかいて調べましょう。

長さ (m)	1	2	3	4	5	6	
代金 (円)	80						

リボンの長さが 2 倍、3 倍、……になると、それにともなって
代金も 2 倍、3 倍、……になるので、代金は長さに

(2) だいちは、長さが 9 m のときの代金を、 80×9 という式で求めました。
教科書の図を見て、次の図を完成させましょう。



(3) 長さが 9 m のときのリボンの代金が、 80×9 の式でよいわけを□に言葉を入れて説明しましょう。

リボンの代金は長さに になるので、リボンの長さが 9 倍になると、代金も になります。

(4) 教科書 31 ページの ㊦ の問題に取り組みましょう。

式	説明 _____ _____ _____ _____
図	

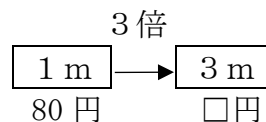
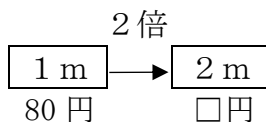
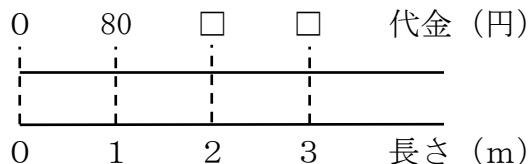
「小数のかけ算」

教科書34ページ～35ページ

月 日 () 名前

1 教科書 34 ページの問題を声に出して読みましょう。

(1) 2 m や 3 m 買ったときの代金はそれぞれ何円ですか。



2 m では、 $80 \times 2 =$

円

3 m では、 $80 \times 3 =$

円

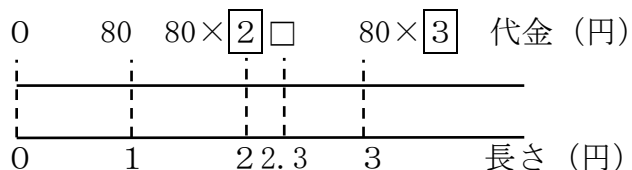
(2) 代金を求める式をことばの式で表しましょう。

1 m のねだん	×		=	
----------	---	--	---	--

2 教科書 35 ページ 1 を声に出して読みましょう。

(1) 代金を求める式をかきましょう。また、その式になるわけを説明しましょう。

式



説明

(2) 教科書 35 ページを読んで、かける数が小数のときの式についてまとめましょう。

リボンの長さが小数のときも、代金を求める式は、

--

「小数のかけ算」

教科書36ページ～37ページ

月 日 () 名前

1 80×2.3 の計算をしましょう。

(1) 教科書 36 ページを読んで、計算の仕方を考えましょう。

ア だいちさんの考え 2m と 0.3m に分けて考える

```

graph TD
    A[2.3mの代金] --> B[2mの代金]
    A --> C[0.3mの代金]
        
```

1m のねだんは 80 円だから、
 2m の代金は、 $80 \times 2 = 160$
 0.3m の代金は、 0.1m の代金の 3 倍
 だから、 $(80 \div 10) \times 3 =$
 あわせて、 $160 +$ $=$ 円

イ ひなたさんの考え 0.1m の代金の 23 倍と考える

```

graph TD
    A[0.1mの代金] -- "x23" --> B[2.3mの代金]
    A -- "x23" --> B
        
```

0.1m の代金は、 $80 \div 10$
 2.3m の代金は、その 23 倍だから、
 $80 \times 2.3 = (80 \div 10) \times 23$
 $=$ 円

ウ かいとさんの考え 23m の代金の $\frac{1}{10}$ と考える

```

graph TD
    A[2.3mの代金] -- "x10" --> B[23mの代金]
    A -- "x10" --> B
    B -- "div10" --> A
        
```

2.3m の代金は、 80×23
 2.3m の代金は、その $\frac{1}{10}$ だから、
 $80 \times 2.3 = (80 \times 23) \div 10$
 $=$ 円

(2) (1) で考えた計算のしかたについて、よいところや似ているところを考えましょう。

(3) 教科書 37 ページを読んで、計算のしかたをまとめましょう。

小数をかける計算は、 のしかたをもとにして
 考えることができます。

2 教科書 37 ページの 3 の問題に取り組みましょう。

①式

②計算

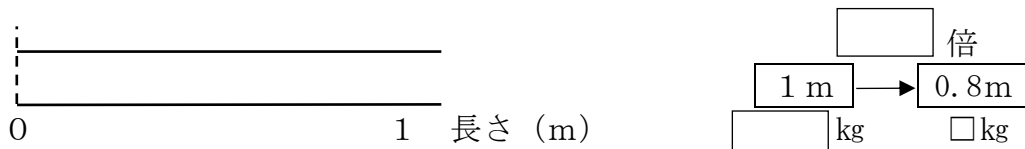
「小数のかけ算」

教科書38ページ～39ページ

月 日 () 名前

1 教科書 38 ページ 1 を声に出して読みましょう。

(1) 教科書の図を見て、次の図を完成させましょう。



(2) 答えは、3 よりも大きくなりますか。小さくなりますか。

(3) 式にかきましょう。

(4) 8 m の重さの $\frac{1}{10}$ と考えて、計算しましょう。

$3 \times 0.8 = \square$

$\downarrow \times 10$
 $\downarrow \times 10$

}

$\div 10$

$3 \times 8 = \square$

8 m の重さは、 3×8

0.8 m の重さは、その だから、

$3 \times 0.8 = (3 \times 8) \div 10$

= kg

2 教科書 38 ページ 2 を読みましょう。

(1) それぞれの重さを、式にかいて計算しましょう。

㊤ $3 \times 0.5 =$

㊦ $3 \times 0.8 =$

㊧ $3 \times 1 =$

㊨ $3 \times 1.5 =$

㊩ $3 \times 2 =$

(2) (1) の結果と教科書 39 ページをもとに、かける数と積の大きさの関係をまとめましょう。

かける数 > 1 のとき、

かける数 $= 1$ のとき、

かける数 < 1 のとき、

3 教科書 39 ページの 3 の問題に取り組みましょう。